

# 令和7年度 松代高校生徒会 豊栄小学校との交流会 2026 1

## 01 交流会について

私たちは豊栄小学校のみなさんと交流会を行い、「竹あかり」制作に取り組みました。竹あかりとは、竹に電動ドリルで穴をあけ、その穴で模様を作り、ライトの光で浮かび上がらせる作品です。

## 02 活動内容



それぞれ竹にどのような穴をあけるかを考えてもらいそのデザインされた紙を小学生のみなさんに持ってきていただき、それにそって安全に気をつけながら、電動ドリルで一つ一つ穴をあけました。

竹は硬く、力加減が難しかったですが、協力しながら取り組みました。

小学生のみなさんが用意してくれたデザインの大きさにあったドリルがなく、最初は困惑した様子でしたが、協力しそれぞれ工夫を凝らした作品を作っていました。

穴をデザイン通りにあける。ということだけではなく、その場でどうすればいいのかを考えて調整していくことの大切さを学ぶことができました。

## 03 小学生との交流



最初は緊張していた小学生のみなさんも、だんだんと慣れてきて、集中して作業していました。作業中は集中して話すことは少なかったのですが、作品が完成すると同時に喜びの声を上げ笑顔を見せてくれました。友達同士で完成させた作品をみせあったり、高校生と協力して穴をあけた際にでた竹くずを片付けたりと仲を深めあう姿が印象的でした。

一人一人の個性が輝く世界にひとつだけの作品を協力して作り上げることができました。

## 04 交流から学んだこと

今回の交流会を通して

- ・協力することの大切さ
- ・相手にわかりやすく伝えることの難しさ
- ・失敗しても工夫すれば素敵な作品になることを改めて感じることができました。

前回の中学生との交流会での反省も生かし、より充実した交流ができたと思います。



竹あかりを作ったあとには、竹を使って焼いたバームクーヘンをいただきました。竹という自然の素材を、作品づくりだけでなく食べ物づくりにも活かしていることに驚きました。

